



Nikon 100th anniversary

ニコン100歳。

2017年7月25日、おかげさまでニコンは創立100周年を迎えました。

1925年
ニコン設計による初の顕微鏡
「JOICO顕微鏡」



1948年
ニコンカメラの初号機
「ニコンI型」



1959年
ニコン初のレンズ交換式一眼レフカメラ
Fマウント初採用モデル
「ニコンF」



すべては「光」が始まりでした。

ニコンは、1917年に光学の道を歩み始めました。

1925年に初めて自社設計で開発した「JOICO顕微鏡」。そこから進化した顕微鏡システムは、ノーベル賞を受賞したiPS細胞の研究もサポートしています。

ニコンのカメラおよびレンズの歴史は、1932年にレンズの名称を「NIKKOR」に決定した頃に始まります。

1948年に発売した小型カメラ「ニコンI型」で、ニコンの名前が初めて使用されました。

1950年、ニコンにとって大きなニュースがありました。ニューヨーク・タイムズ紙で、ニコンカメラおよびNIKKORレンズの優秀性が記事になったのです。

世界中のプロフェッショナル・フォトグラファーたちに名が知られることになりました。

その後、1959年に発売された一眼レフカメラ「ニコンF」で、ニコンとNIKKORのブランドは揺るぎないものとなりました。

1971年、アポロ15号とともに、ニコンのカメラは月に向かいました。

1978年には、冒険家植村直己さんとともに北極点に到達しました。地球で宇宙で、世紀の瞬間、決定的瞬間をニコンは記録してきました。

超精密機器の時代へと突入し、デジタル分野においても、ニコンの光の技術はさらに欠かせないものとなっています。

ニコンの半導体露光装置は、1mmの幅に5万本の線を描くことができます。また、皆様がお使いのほとんどのスマートフォンにはニコンのFPD露光装置で製造された高精細液晶パネルが使用されています。

ニコンは、最先端テクノロジーで産業や人々の生活の進化に貢献しているのです。

この100年のご支援に、心から感謝いたします。ニコンがニコンらしく、挑戦と追求を続けてこられたのも、皆様からの信頼があったからこそです。

次の100年も、人類が素晴らしい未来へ進んでいけるよう、世界に多くの貢献ができればと願います。

Unlock the future with the power of light

光の可能性に挑み、進化し続けることが、私たちニコンの個性です
世界のいたるところにニコンの光が溢れ、人々に寄り添っている
そんな未来を私たちは想い描いています
ニコンは光で未来を変えます